

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

あすなる学園市町支援課は、
途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ② 「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援 *CLMは、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

あすなる学園長よりご挨拶

地域子育て支援人材育成事業として平成19年にこどもの発達総合支援室があすなる学園に設置され8年目を迎えます。この間、県知事に認定された「みえ発達支援システムアドバイザー」は46名になりました。それぞれが地域で毎日忙しく子どもや家族に寄り添って活躍されています。送り出した私たちもそのネットワークを頼りに、外来や入院治療を行っている子どものために地域との連携を行えるようになりました。

文部科学省が平成14年に調査報告した、普通学級における気になる子どもは10年後の24年12月の発表では6.3%から6.5%に増加しております。特に小学校1年生は9.8%、2年生は8.2%の子どもたちが学習面や行動面に著しい困難を示しています。平成19年4月から特別支援教育体制になり、子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応する教育が実践されるようになりました。しかし、小学校低学年での「学習障害児」の発見と対応はまだまだの状態です。問題を先送りせず、子どもは小さいうちに支援しましょう。市町支援システムでたくさんの市町に「目利き、腕利き」の「みえ発達支援システムアドバイザー」が増えていく事を願っています。

平成27年3月

三重県立小児心療センターあすなる学園長

西田 寿美

「CLM と個別の指導計画」を活用した

発達支援の実践報告会を開催しました！！

平成26年11月15日（土）、三重県総合文化センター 中ホールにて、「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会を開催しました。「CLMと個別の指導計画」を活用した具体的な支援方法やその効果を、今年度は5つの市町（名張市、東員町、岐阜県飛騨市、鈴鹿市、朝日町）に報告していただきました。当日は、長野県・岐阜県・山梨県・広島県・石川県など他県からもお越しいただき、県内外の保健、福祉、教育等、子どもの支援に関わる296名の方々にご参加いただきました。

県内外の市町で活用されている支援アイテムの展示コーナーでは、開演前や休憩時間になると沢山の人で賑わいました。報告会の最後には、あすなろ学園長より、それぞれの取り組みに対して榮譽を称え、表彰状が贈呈されました。

*ホームページに詳細を掲載していますので、ぜひご覧ください！

【実践報告1 名張市】

初めての場面で不安感が強く自己発揮ができてにくいAくんへの支援

【実践報告2 東員町】

幼児期から小・中学校を見据えた途切れのない支援～Aくんの笑顔を通して～

【実践報告3 飛騨市】

個別支援から園全体への取り組みへ～「CLMと個別の指導計画」の作成を通して～

【実践報告4 鈴鹿市】

自分の思いで衝動的に行動してしまうA君への支援

【実践報告5 朝日町】

初めてのことに不安を表すAくんへの支援



*表彰式の様子

アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想
を一部ご紹介します

- ・CLMの土台に子どもの成長を願う『愛』があることを感じさせてもらいました。ありがとうございました。
(菰野町 保育士)
- ・参考資料（本、支援グッズ）をたくさん展示していただいてあったので、とても参考になりました。
実践報告も素晴らしく、支援の必要な子に関わることにより、保育士自身が変わり、成長していくことにつながるのだと感じました。
(志摩市 保育士)
- ・CLMに取り組み、先生・子どもの変化が素晴らしかった。なおかつ、『こうやったらうまくいきます』ということを実践に裏付けされて自信をもって保護者に伝え、家でも実践し、家での子どもの変化、保護者の変化もあり、本当に子どもの育ちを支援していて、素晴らしいと思った。
(南アルプス市 保健師)



ミニ学会を開催しました！！



活動報告の様子

『みえ発達障がい支援システムアドバイザー』

あすなる学園での研修修了後、三重県知事からの認定を受け、各市町における発達障がい児・者に対する途切れのない支援を行っています！

平成26年12月13日（土）、三重県吉田山会館にて『みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修会（ミニ学会）』を開催しました。この研修会は、アドバイザー相互の協力により資質を高めるためとともに、一層の専門性の向上を図ることを目的として毎年開催されています。6回目の開催となる今年度は、『発達障がいと教育』をテーマに、活動報告等を行いました。

プログラム

・活動報告「発達障がいと教育」

- ① 「いなべ市 LD 等通級指導教室の取り組み ～自信を取り戻すために～」

いなべ市立山郷小学校 藤本 充代

- ② 「活動報告 ～兼務による巡回相談の現状～」 多気町立勢和小学校 森井 啓

・第55回日本児童青年精神医学会総会報告

「あすなる学園を中心とした三重県の発達支援システム～地域支援から入院治療へ、そして地域支援へ～その②保護者の育児スキル汎化に対するアドバイザーによる支援」

志摩市ふくし総合支援室 谷 礼子

・日本 LD 学会第23回大会報告

「幼児期から小・中学校を見据えた途切れのない支援～「CLMと個別の指導計画」を活用して、自信をつけた笑顔いっぱいA君～」

東員町発達支援室 日沖 優子

・ワークショップ「アドバイザーの困り感」

あすなる学園市町支援課 北森 敬子

・講演「あすなるから地域へ～アドバイザーに求めること～」あすなる学園デイケア・外来療育 酒井 裕也

・講演「風船」

向陽台高等学校古川学園 副校長 岡出 昭宜

「CLMと個別の指導計画」の手法を組織マネジメントに応用！！

昨年度の同会において、アドバイザーが日頃活動する中で抱える課題等についての意見を出し合い、情報交流をしました。今回は、それらをもとに、さらに進化させる形でワークショップを行い、3つのテーマ（①「CLMと個別の指導計画」②ケース対応③連携・体制）について、課題の整理、要因分析、具体的方策など関連に意見を出し合いました。最後はグループ発表を行うことで、意見の共有を図りました。

アンケートには、「CLMの考え方をマネジメントに活かしていけることを学んだ」、「自分の職場でできることから始めたい。CLMと同じく、要因を考え、スモールステップで改善したい」等の声が多く寄せられました。



ワークショップの様子

みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修

平成26年度 研修者報告会を開催しました！！

平成27年2月17日（火）、城山れんげの里にて、平成26年度研修者報告会を開催しました。当日は、研修者の所属市町関係者、今後アドバイザー研修への派遣を検討中の行政担当者等、合計50名の参加がありました。今年度研修者の3名が、1年間の集大成として、それぞれ取り組んだ研修成果の報告を行い、子どもたちの成長を見守り支える『みえ発達障がい支援システムアドバイザー』としての決意を新たにしました。

《研修者派遣市町関係者からの激励のことば》

～アンケートより～

【四日市市】

市に戻り、一緒に仕事ができる事をとても楽しみにしています。心強いです。

【玉城町】

1年間大変なこともたくさんあったと思いますがお疲れ様でした。今まで学んだことを4月から大いに発揮して頂きたいと思っています。研修報告会にて、とても力強さ（気持ち、技術面など）を感じました。

【伊勢市】

1年間中味の濃い研修お疲れ様でした。素晴らしい報告をいただいて感動しました。春からそれぞれの地域で一緒にがんばりましょう。



インフォメーション

～H27年度 主な行事、研修会～

●ザ・夏 途切れのない発達支援研修会

ワークショップ

5月12日（火） 松阪庁舎

5月17日（日） 熊野市文化交流センター

5月30日（土） 四日市市文化会館

6月13日（土） 伊勢庁舎

講演会 8月27日（木） 三重県総合文化センター 中ホール

●「CLM と個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会

11月8日（日） フレンテみえ 多目的ホール

●みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修会（ミニ学会）

12月6日（日） 三重県教育文化会館

*詳細は、後日、各市町窓口担当者を通じてご案内します。



2015年3月5日

<発行> 三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援課
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361
MAIL：asunaro@pref.mie.jp URL：http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/